

ふじ美が原

富士見中学校

より良い学びとするために (1) ～授業評価アンケートの結果と今後の方向～

富士見中学校では、より良い学びを生徒と共に作っていくために授業評価アンケートを無記名でとり、集約をした上で、その結果を分析して今後を活かすための話し合いを教科ごとにしています。今回と次号の二回に分けて本年度の結果と今後の方向についてお伝えしていきます。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

数 学 科

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

授業評価アンケートの結果から

○八〇九割の生徒は、「板書などからこの時間に何を学習するのか学習問題や学習課題がはっきりしていた」と感じています。

○「授業の終わりに学習内容が理解できた」という質問に対して、「そう思う」「大体そう思う」と回答している生徒が八〇九割いました。しかし、学年が上がるにしたがい、「そう思う」の割合が減っています。

○「友達の考えを参考にしながら学ぼうとした」という質問に対して「そう思う」「大体そう思う」と回答している生徒が八割を超えています。とくに三年生は、九五％の生徒がそう回答しています。

●自分の考えを持ち、積極的に発言す

ることができなかつたと振り返る生徒が二、三年生は全体の三〇四割いました。一年生は二割程度でした。

二八年度改善の方策

● 一時間の流れが板書からも分かるよう、「学習問題」「方法や結果の見通し」「学習課題」「追究」「まとめ」を基本とした授業を展開していきたいと思えます。既習事項と関連付けて表現・説明できるように、毎時間に「もとになる考え方」を蓄積できるような板書をしていきたいと思えます。

● 友達の考え方や見方から自分の考えを再構築できるように、全体での追究だけでなく、グループ活動やペア活動を多く取り入れていき



たいと思えます。その中で、分かっていることや困っていることなど、自分の考えを発信しやすくしたいと思えます。

● 今年度は家庭学習の提出ノートで、「学習のめあて」と「振り返り」を記入するように進めてきました。自分の苦手な単元などが明確になり、目的を持って学習をする生徒が増えたと感じていますが、まだ作業にとどまれている生徒もいますので、来年度も引き続き指導しながら、そのあり方を検討していきたいと思えます。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

社 会 科

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

一 アンケートの結果より

○生徒自身の授業の取り組みについて
目標をもって授業に取り組んだり、集中して授業に取り組んだり、前向きな学習ができている生徒がとて多くなります。(一年九三％、二年八九％、三年九六％)

● 発言についても多くの生徒が積極的にできたとしています。(一年八九％、二年五二％、三年七〇％)

個別支援してほしいと思いましたが」といった意見もありました。

また、二学年では、「自分にとって制作時間は十分あったと感じた」という項目において、「そう思わない」「あまりそう思わない」と答えた生徒の割合が全体の三割を超えるという結果が出ました。このような結果となった原因として、二学年では、抽象的な内容が多くなり、主題を考える必要性が出てきたことが挙げられると考えられます。そのため、作品の構想に多くの時間を割かれる生徒が出てきており、実際に作品を作っていく作業時間が足りなくなつたものと考えられます。

このような結果を受け、学習カードなどを使って、生徒の制作状況をできる限り把握し、制作進度が遅れ気味の生徒に対して、先を見ながらスモールステップで個別支援をしていくこと、また、模造紙や板書などを積極的に活用し、手順や工程をまとめたり、参考作品の数を増やしたりしながら、視覚的な情報を充実させて生徒の制作を支援していきたいと考えています。生徒によって制作の進度に差が出てくることは完全に解消できるものではないと考えますが、個々に応じた支援を充実させながら、このような課題の

緩和に尽力していきたいです。

(他教科は次号掲載いたします)

安全係から

平成二七年度も終わりを迎えようとしている時期となりました。一年間のまとめの時期であり、新しいスタートを迎える時期でもあります。年度の切り替わりの三月～四月にかけて、陽気が温かくなると同時に、気持ちもフワフワとしてしまうものです。そして、交通事故も起きやすい時期でもあります。改めて「交通安全」のルールについて確認し、安心・安全に、新年度を迎えられるようにしましょう。

〈歩行者〉の注意点

① 夜間での外出

「外出は 明るい笑顔と 反射材」※
夜間での外出はなるべく避けましょう。どうしても外出の必要のある時は、「ライト」や「夜光反射材」を身につけること。

たすき、アームバンド、自転車の反射板を取り付けましょう。

② 交差点・横断歩道

「横断はいくつになっても 右左」※
道路を横断する時は、左右の確認を「必ず」行って、車が「完全に」止まっているから、歩を進める。歩行者用の信号機が「青」になつても、周りの車の様子を一度確認してから。横断歩道のあるところで横断する。

〈自転車運転〉の注意

① 「安全に」運転できる自転車を使用おう。

合言葉は「ぶ・た・は・しゃ・べる」
ぶ・・・ブレーキ
た・・・タイヤ
は・・・反射材
しゃ・・・車体(ハンドル・サドル・ライト)
べる・・・ベル
必ず「ヘルメット」を着用すること。
(未着用の場合は、死亡リスクが「三倍」になります。)

② 自転車も「車」。交通ルールを必ず守る。

「子どもでも 自転車のつたら 社会人」※
自転車も車と同じ扱いとなるため、左側通行を守りましょう。また、携帯、スマホを使いながらの運転や、傘を差

しながらの運転音楽を聴きながらの運転、並行・蛇行運転 二人乗り これらはすべて行わないようにしましょう。また、「一時停止」、「信号」や「標識」の指示に従って運転するようにしましょう。

保護者の皆様へ

県内、郡内で小中学生が被害に遭う交通事故が増加しています。学校でも指導をしておりますが、ご家庭でもご指導をよろしくお願いします。

最後に・・・

「大丈夫だろう」「来ないだろう」という安易な考えではなく、車が「来るかも」という考え方で、危険のアンテナを張っておきましょう。「事故や災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。」

※(交通安全標語(全日本交通安全協会・毎日新聞社主催交通安全年間スローガン)上位入賞作品から)

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0286(02)2009 FAX 0286(02)7409

担当 名 取 克 裕